

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンエー化研

コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤岡 宣隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

(氏名) 藤岡 貞章

TEL 03-3241-5702

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	24,485	△0.1	759	335.9	891	256.5	269	259.1
24年3月期第3四半期	24,518	△4.9	174	△74.3	250	△66.9	75	△79.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 303百万円 (309.7%) 24年3月期第3四半期 74百万円 (△72.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	24.55	—
24年3月期第3四半期	6.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	30,411	14,865	48.4	1,341.98
24年3月期	29,245	14,711	49.8	1,328.57

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 14,724百万円 24年3月期 14,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	7.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,800	△0.9	760	430.3	900	246.6	258	—	23.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記資料)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	11,320,000 株	24年3月期	11,320,000 株
25年3月期3Q	348,203 株	24年3月期	348,203 株
25年3月期3Q	10,971,797 株	24年3月期3Q	10,971,875 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の企業業績や雇用に持ち直しが見られたことから、米国経済については回復基調にあると思われるものの、財政再建策を巡る問題が未決着であり、不安要素を抱えております。また、欧州の経済は未だ低迷した状態から脱することができず、中国においても景気は減速傾向を強めており、世界的に先行き不透明感が漂っております。

一方、わが国経済については、震災の復旧・復興によって緩やかな回復を辿っていましたが、第3四半期に入り、長引く円高によって企業の景況感が悪化するなど景気回復は踊り場を迎えました。しかし、昨年末の政権交代によって為替相場がこれまでの円高基調から円安へと反転し、輸出企業の国際競争力の回復が見込まれるなど、明るい兆しも見え始めてまいりました。

そのような状況下、当社グループにおいては、軽包装材料の製品売上が季節要因と欧州・中国経済の影響を受けて減少しましたが、機能性材料の製品がスマートフォンやタブレット端末向けに好調な受注を維持したため、軽包装材料の減収を補う結果となりました。また、収益面においては、機能性材料の販売数量増加と製品の収益性向上によって、前年同期と比較して大幅に改善致しました。

また、札幌工場跡地における土壌及び地下水汚染に対する恒久的な浄化処理費用につきましては、当四半期において処理計画が策定され、合理的な費用の見積もりが可能となりましたので、その金額を環境対策費として特別損失に追加計上致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高24,485百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益759百万円（前年同期比335.9%増）、経常利益891百万円（前年同期比256.5%増）、四半期純利益269百万円（前年同期比259.1%増）となりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりであります。

軽包装材料

当セグメントにつきましては、東日本大震災以降の食糧備蓄ニーズに伴う需要増が一巡したものの、調理の簡便化や個食化が進むなか、電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」を中心に食品用包材の受注は堅調に推移しました。しかし、春先の天候不順によって清涼飲料やゼリー等の夏季向け商品の立ち上がりが遅れたことなどが影響し、食品関連全体では例年を下回る結果となりました。また、欧州経済の停滞や中国の景気減速により、工業用関連の主力商品である「エアロテクト」の受注の落ち込みが長期化し、大幅な減収となったことから、当セグメントの売上高は減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,623百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

産業資材

当セグメントにつきましては、梱包・養生テープ用の樹脂クロス、布ポリラムなどの製品は、好調な受注を維持したものの、震災後の需要増によって販売量が増加した前年同期と比較すると若干の減収となりました。一方、クラフトテープ、包装紙用のラミネート紙については、ユーザーの製品の販売量が増加したことから受注が増え、若干の増収となりました。また、剥離紙のなかでも当社の成長商品である電材用工程紙「アドテラ」の受注が、期初において低調であったことなどから、当セグメントの売上高は僅かに減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,852百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

機能性材料

当セグメントにつきましては、世界的に液晶テレビの低価格化が進み、それに使用される偏光板、導光板用の表面保護フィルムは単価の下落と受注の減少によって減収となりましたが、スマートフォンやタブレット端末等のタッチパネルに使用される各種光学シート用の表面保護フィルムが大きく伸長した結果、当セグメントの売上高は大幅に増加しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,687百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

なお、セグメント別の売上高は以下のとおりです。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	10,623百万円	43.4%	5.7%減
産業資材	5,852百万円	23.9%	0.8%減
機能性材料	7,687百万円	31.4%	9.9%増
その他	322百万円	1.3%	8.2%減
合計	24,485百万円	100.0%	0.1%減

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末と比べて1,166百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加1,419百万円や、電子記録債権の増加413百万円等の増加要因がありましたが、たな卸資産の減少414百万円や、減価償却による有形固定資産の減少339百万円等の減少要因に相殺されたためであります。

(負債)

前連結会計年度末と比べて1,011百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加1,297百万円や、環境対策引当金の増加456百万円、長期借入金の増加131百万円（流動負債「その他」に含めている「1年内返済予定長期借入金」の増加を含む。）等の増加要因がありましたが、短期借入金の減少613百万円等の減少要因に相殺されたためであります。

(純資産)

前連結会計年度末に比べて154百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が115百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想の修正につきましては、本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6,141千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,570,222	4,989,999
受取手形及び売掛金	11,099,726	11,246,111
電子記録債権	252,369	665,382
商品及び製品	1,631,902	1,368,474
仕掛品	1,562,993	1,294,484
原材料及び貯蔵品	748,572	865,716
その他	275,380	191,624
貸倒引当金	△62,897	△65,530
流動資産合計	19,078,269	20,556,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,776,059	2,639,965
機械装置及び運搬具（純額）	1,379,675	1,244,937
土地	1,901,430	1,916,530
その他（純額）	371,317	287,213
有形固定資産合計	6,428,482	6,088,646
無形固定資産	26,034	24,322
投資その他の資産		
投資有価証券	2,658,910	2,726,884
その他	1,055,193	1,016,953
貸倒引当金	△1,709	△1,708
投資その他の資産合計	3,712,395	3,742,129
固定資産合計	10,166,911	9,855,098
資産合計	29,245,181	30,411,360

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,319,914	7,617,337
短期借入金	4,003,000	3,390,000
未払法人税等	24,469	49,485
賞与引当金	448,498	236,972
役員賞与引当金	6,150	2,585
その他	1,662,169	1,548,214
流動負債合計	12,464,203	12,844,593
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	959,814	1,151,802
退職給付引当金	693,062	643,726
役員退職慰労引当金	104,118	122,967
環境対策引当金	—	456,500
資産除去債務	96,992	97,912
その他	195,907	218,301
固定負債合計	2,069,894	2,701,209
負債合計	14,534,097	15,545,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,135,839	2,135,839
利益剰余金	10,029,928	10,145,767
自己株式	△116,963	△116,963
株主資本合計	14,224,804	14,340,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	352,019	383,383
その他の包括利益累計額合計	352,019	383,383
新株予約権	12,559	18,427
少数株主持分	121,700	123,102
純資産合計	14,711,083	14,865,557
負債純資産合計	29,245,181	30,411,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	24,518,119	24,485,865
売上原価	22,075,392	21,510,696
売上総利益	2,442,727	2,975,169
販売費及び一般管理費	2,268,525	2,215,826
営業利益	174,201	759,342
営業外収益		
受取利息	473	279
受取配当金	71,672	73,016
作業くず売却益	46,027	43,259
その他	42,726	78,231
営業外収益合計	160,900	194,786
営業外費用		
支払利息	58,767	52,286
その他	26,142	9,950
営業外費用合計	84,910	62,236
経常利益	250,192	891,892
特別利益		
会員権売却益	3,171	—
固定資産売却益	—	347
投資有価証券売却益	—	170
特別利益合計	3,171	517
特別損失		
固定資産除却損	4,125	6,633
投資有価証券売却損	2,445	92
会員権売却損	323	483
会員権評価損	1,473	4,250
環境対策費	—	459,391
特別損失合計	8,367	470,849
税金等調整前四半期純利益	244,996	421,561
法人税、住民税及び事業税	41,503	50,610
法人税等調整額	122,463	98,504
法人税等合計	163,966	149,114
少数株主損益調整前四半期純利益	81,029	272,446
少数株主利益	5,997	3,001
四半期純利益	75,032	269,444

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	81,029	272,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,878	31,364
その他の包括利益合計	△6,878	31,364
四半期包括利益	74,151	303,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,220	300,808
少数株主に係る四半期包括利益	5,931	3,001

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	11,268,143	5,901,780	6,996,571	24,166,494	351,625	24,518,119
セグメント利益 (△は損失)	437,145	155,320	△460,107	132,358	41,843	174,201

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	10,623,617	5,852,033	7,687,596	24,163,247	322,617	24,485,865
セグメント利益	208,665	73,100	442,668	724,434	34,908	759,342

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。